

2024年4月12日

SUBARU 「DBJ 環境格付」融資契約を締結

—最高ランクの格付を取得—

株式会社SUBARU(代表取締役社長:大崎 篤、以下「SUBARU」)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:地下 誠二、以下「DBJ」)が実施する「DBJ 環境格付」において、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得し、同格付に基づく融資契約を締結しました。



DBJ 環境格付ロゴマーク

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、SUBARU の以下の取り組みが高く評価されました。

- (1) 環境課題に関する 2050 年の長期目標及びマイルストーンとして設定した環境アクションプラン 2030 のもと、環境負荷データの分析結果も踏まえながらその低減に向けた長期的な設備投資計画を策定するとともに、国内外の連結子会社も加わった一体的な環境マネジメント体制にて負荷低減施策の好事例を双方向で共有し合う等、事業活動における環境負荷低減に精励している点
- (2) 将来の外部環境変化の多角的な分析のもと、電気自動車の販売比率や自動車の Well-to-Wheel での CO₂ 排出量削減にかかる長期目標を掲げるとともに、その実現に向けたロードマップを策定・提示しながら、他社とのパートナーシップも活用して、電気自動車の開発や生産・販売拡大に向けた取り組みを推進している点
- (3) 必要に応じ二次サプライヤーも含めてサプライヤーの CSR に関する取り組み状況を調査・評価しているほか、人権デュー・ディリジェンスを実施し対応策を策定・実践するとともに、動植物由来原材料の生態系への影響調査や新型車に使用するプラスチックのリサイクル素材比率の長期目標設定等の自然資本配慮・資源循環施策を推進する等、サプライチェーンの持続可能性に多面的に配慮している点

SUBARU は、ありたい姿として「笑顔をつくる会社」を掲げています。その実現に向け、CSR 重点 6 領域「人を中心とした自動車文化」「共感・共生」「安心」「ダイバーシティ」「環境」「コンプライアンス」の考え方を定め、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに「安心と楽しさ」を提供することを目指しています。

SUBARU は、これからも持続的な成長を目指すとともに、愉しく持続可能な社会の実現に貢献していきます。

<本契約の概要>

契約金額:100 億円

契約締結日:2024 年 3 月 29 日

実行日:2024 年 3 月 29 日